

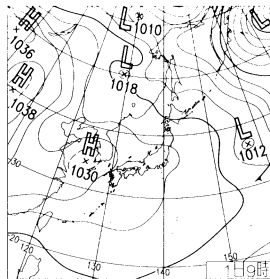
日々の天気図

— No. 1

2002年2月

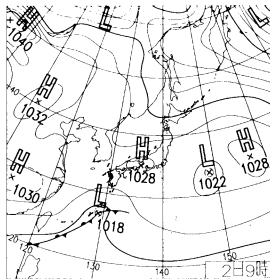
・2日～4日、前線を伴った低気圧が発達しながら日本の南海上を通過、伊豆諸島が大雨となり、八丈島で3日の日降水量が169.0mmとなった。

(気象庁予報部予報課)



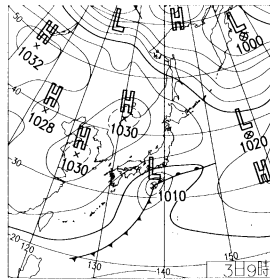
1日(金)全国的に晴れ

西から高気圧に覆われて日本海側の雪も止み、全国的にほぼ晴れ。沖縄地方は曇りか雨。神戸で平年比21日早く梅開花。



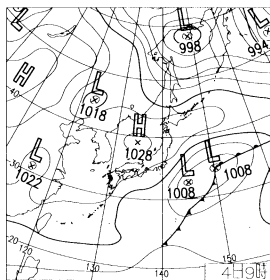
2日(土)気圧の谷に

沖繩付近に低気圧が発生して、近畿地方から西は所々雨。北海道や東北北部は別の気圧の谷の接近で雨か雪。



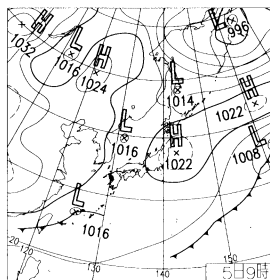
3日(日)八丈島で1時間53mm

節分。低気圧は東海道沖に進み、関東地方中心に雨、八丈島で1時間53mmの雨で、2月の1位記録更新。宇和島で平年比27日早くウグイスが初鳴。今年全国初。



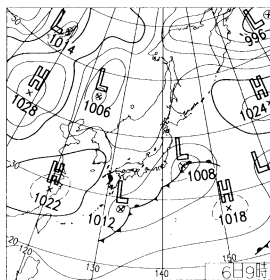
4日(月)移動性高気圧

立春。日本海に移動性高気圧。北に偏って日本付近を覆う。関東東から西の太平洋側は北東の風で曇り。金沢で平年比30日早くツバキ開花。



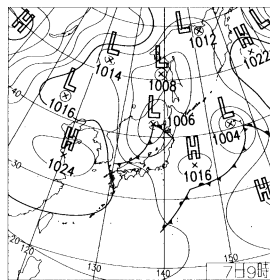
5日(火)西から天気崩れる

移動性高気圧は三陸沖に抜ける。前線を伴った低気圧が東シナ海から九州の南海上に進む。関東東から西は曇りで、九州南部から南西諸島で雨。



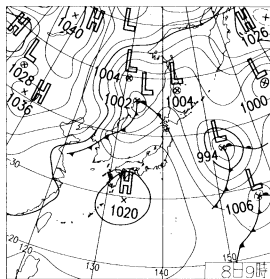
6日(水)名古屋でタンポポ開花

低気圧が関東の東に進む。東シナ海に高気圧張り出す。関東、北陸や南西諸島で曇り、一部で雨。他は晴れ。名古屋で平年比24日早くタンポポ開花。



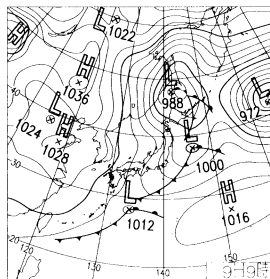
7日(木)今年初の黄砂

日本海北部の低気圧の影響で近畿から北で曇り。東シナ海に高気圧が進む。高知で平年比21日早くウグイス初鳴。最早、山陰から近畿で今年初の黄砂観測。



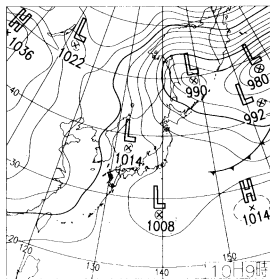
8日(金)全国的に気温上昇

四国南に移動性高気圧進む。沿海州から日本海に気圧の谷。本州南岸の一部で晴れの他は曇り。富山でツバキが平年比39日早く開花。札幌の最高気温平年比6.7℃高く5.8℃に。



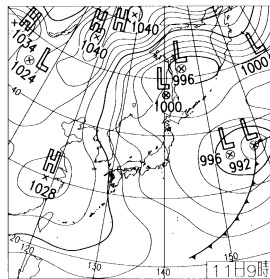
9日(土)冬型の気圧配置に戻る

冬型の気圧配置となる。北陸から北の日本海側は雪、その他は晴れ。甲府で平年比33日早くツバキ開花。



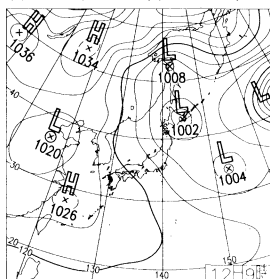
10日(日)伊豆大島で初雪

冬型の気圧配置は北日本中心に。全国的に曇り。日本海側は雪。北海道上空に-40℃以下の寒気侵入。北日本で新たに10cmを超える降雪。伊豆大島で平年比47日遅く初雪。



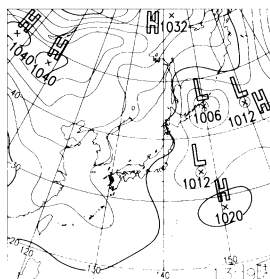
11日(月)日本海側雪続く

冬型の気圧配置は西日本中心に。日本海側は雨や雪。鳥取で37cm、金沢で26cmなど山陰や北陸で20cmを超える新たな降雪。最低気温は全国的に平年を下回る。



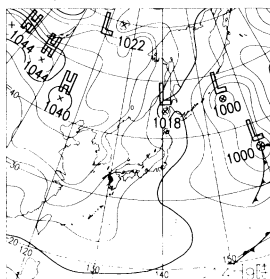
12日(火)天気相談所新装開所

冬型の気圧配置続く。北陸から北の日本海側は雪。北海道上空に-46℃の寒気。富山15cm、山形17cmなど所々10cmを超える新たな降雪。



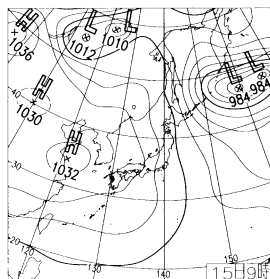
13日(水)日本海側でも晴れ間

冬型の気圧配置緩む。四国、東海、東北北部から北は晴れ、日本海側でも晴れ間。北陸は雪、九州は雨の所あり。金沢で平年比20日早く梅開花。



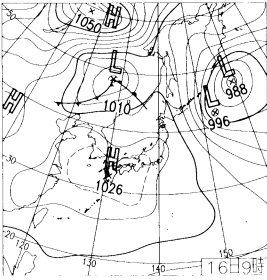
14日(木)北海道に寒気居座る

冬型の気圧配置続く。九州から山陰は所々雨、北陸から北は雪、その他は晴れ。北海道上空に-41～-43℃の寒気居座る。青森で新たに22cmの降雪。



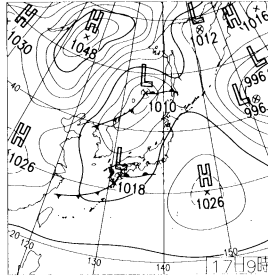
15日(金)北海道の寒気抜ける

冬型の気圧配置続く。北陸から北の日本海側と近畿の一部で雪、他はほぼ晴れ。北海道の寒気夜に抜ける。青森県酸ヶ湯で36cm、弘前で22cmなどの降雪。



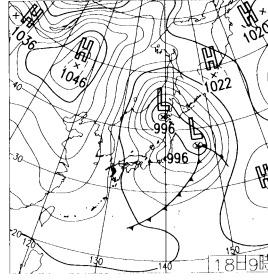
16日(土) 移動性高気圧

九州付近の移動性高気圧が広く日本付近を覆う。日本海側は所々曇りで、一部で雪。その他は晴れまたは快晴。



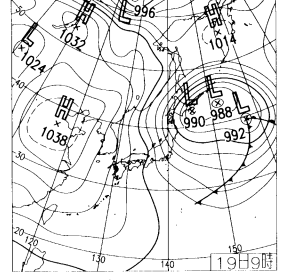
17日(日) 西日本から雨広がる

移動性高気圧は日本の東に。沿海州と九州に前線を伴った低気圧。東北の一部で晴れ、他は全般に曇りで九州、四国は雨。北海道は雨または雪。仙台で平年比11日早く梅開花。



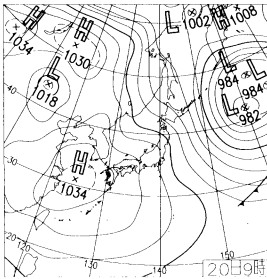
18日(月) 西日本から冬型に

北海道と三陸沖で低気圧が発達。西から冬型の気圧配置となる。関東、四国、九州で晴れ。その他は雨または雪かみぞれ。



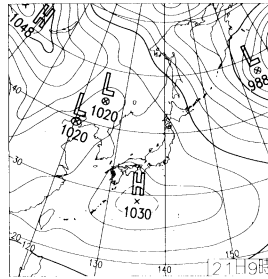
19日(火) 冬型強まる

冬型の気圧配置が強まり、日本海側は雪、太平洋側は晴れ。前橋で低い風塵。最大瞬間風速北西26.7 m/sを観測。



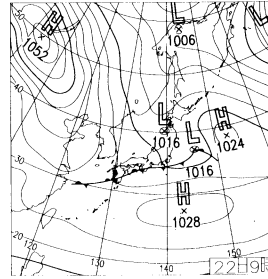
20日(水) 潮岬、清水で遅い初霜

冬型の気圧配置が緩み、東北から北の日本海側で曇り。他は日本海側でも晴れ。潮岬で43日遅く、四国の清水で51日遅く初霜観測。



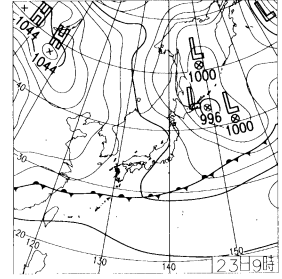
21日(木) 移動性高気圧

本州南の移動性高気圧に広く覆われる。北海道の一部で曇りや雪の他はほぼ全国的に晴れ。気温も高く3月下旬から4月上旬頃、宇和島と長崎でモンシロチョウ初見。



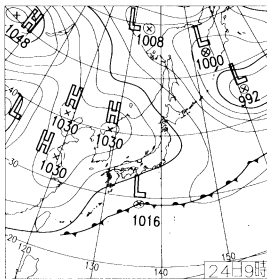
22日(金) 南岸中心に雨

東北地方に低気圧。本州南岸には前線停滞。関東の一部で晴れの他は曇り。南岸中心に所々雨。北日本は雪。大阪で平年より31日早くタンポポ開花、最早。



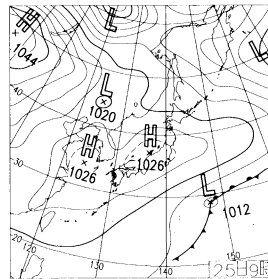
23日(土) 北日本中心に冬型

北日本中心に冬型の気圧配置になる。日本海側は曇り。東北から北の一部で雪。その他は大体晴れ。山陰で黄砂観測。



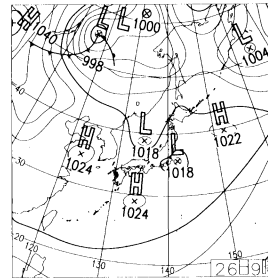
24日(日) 北日本で冬型続く

北日本中心に冬型続く。移動性高気圧が北編気味に日本付近に張り出し、南海上を低気圧が東進。関東は曇り、日本海側は雨か雪。その他は晴れ。



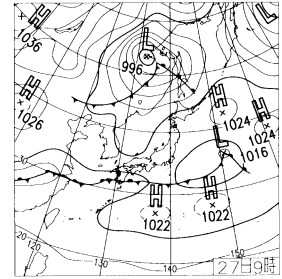
25日(月) 移動性高気圧

大きな移動性高気圧に覆われ、日本列島は、一日中、快晴や晴れの所がほとんど。各地の最低気温は放射冷却で昨日より3~4度下がる。



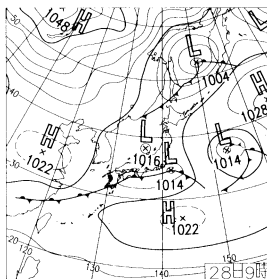
26日(火) 気圧の谷に

高気圧の勢力が弱まり、小さな低気圧が日本海と関東南岸に発生。昨日までの好天が一転して各地とも曇天。西日本の一部では雨。中国大陸に前線が発生し、東に延びはじめる。



27日(水) 南岸に前線停滞

日本の南岸に前線が顕在化。菜種梅雨の気配。タイミングよくテレビの気象解説で菜の花の便り届く。西日本の雨が午後には東北地方まで広がる。前線に遠い北海道は晴れ。



28日(木) 低気圧が東進

前線の低気圧が東海上に進む。東北地方南部から南は雨や曇り。北海道の東部では広い範囲で霧が発生。日照時間が多いのは沖縄地方のみ。